

第1回 庄戸トンネル施工技術検討会

議事要旨

日 時：平成24年6月19日（火）10：00～12：00

場 所：東京文化会館（台東区）

出席者：今田徹委員長、岩井勝彦委員、亀岡美友委員、真下英人委員、
大津敏郎委員、山田隆昭委員

議 題：

- ・ 検討条件の整理・設定
- ・ 基本的な施工方法の検討
- ・ トンネルの基本断面の検討

議事要旨：

資料の内容について説明を行い、下記の意見等があった。

《基本的な施工方法の検討に対する意見》

- 分合流区間の盛土部の切羽安定対策については、地上（坑外）から施工することでより効果が期待でき、確実性が高いと考える。
- 低土被り区間については、非開削工法の適用性があると考え、現地条件によっては部分的に地上からの施工を踏まえ、引き続き検討する必要がある。

《トンネルの基本断面の検討に対する意見》

- 分合流区間における断面の縦横比等、荷重条件や施工計画を考慮した合理的な断面形状について、引き続き検討する必要がある。
- 低土被り区間については、荷重条件、部材厚等を考慮した合理的な断面形状について、引き続き検討する必要がある。

以上

平成24年9月27日
東日本高速道路株式会社
横浜工事事務所

横浜環状南線 庄戸トンネルの施工方法について検討

圏央道-横浜環状南線（釜利谷JCT～戸塚IC）

～「第1回 横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会」を開催～

NEXCO東日本横浜工事事務所（横浜市旭区、所長：田中 博幸）は、平成24年6月19日に「第1回横浜環状南線庄戸トンネル施工技術検討会」を開催し、横浜環状南線庄戸トンネルの施工方法等について検討を行いました。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部を構成する横浜環状南線（釜利谷JCT～戸塚IC間、延長8.9km）は、全線の約7割が地下構造（トンネル又は掘削）で計画されています。計画路線は住宅が密集する地域を通過するため、トンネル工事にあたっては周辺地域への影響について万全な対策を講じることが求められております。

そこで、庄戸トンネルの施工方法等について学識経験者及び専門技術者で構成する「横浜環状南線庄戸トンネル施工技術検討会」を設置して検討を開始しました。

第1回検討会では、検討の条件を設定し、トンネルの基本的な施工方法等について検討を行いました。

当社では、検討会の結果も踏まえ、庄戸トンネルの実施工に向けた施工方法等の検討を順次進めていく予定です。

○第1回検討会の概要

- ◆開催日時 平成24年 6月19日（火） 10:00～12:00
- ◆開催場所 東京文化会館（台東区）
- ◆議事要旨
 - ・別紙のとおり

※会議資料、議事要旨は、ウェブサイト (<http://www.yokokan-minami.com>) に掲載します。

【第1回検討会】

◆開催日時：平成24年6月19日 10:00~12:00

◆開催内容

- ・検討条件の整理・設定
- ・基本的な施工方法の検討
- ・トンネルの基本断面の検討 等

横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会

名 簿

(敬称略、順不同)

- | | | |
|-----|-------|------------------------------------|
| 委員長 | 今田 徹 | 東京都立大学 名誉教授 |
| 委員 | 岩井 勝彦 | (株) 高速道路総合技術研究所
トンネル研究アドバイザー |
| 委員 | 亀岡 美友 | 一般社団法人 日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所 技師長 |
| 委員 | 真下 英人 | 独立行政法人 土木研究所
道路技術研究グループ グループ長 |
| 委員 | 大津 敏郎 | (株) 高速道路総合技術研究所
道路研究部 トンネル専門主幹 |
| 委員 | 山田 隆昭 | 東日本高速道路(株) 技術本部
技術部 トンネル専門役 |